

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
大網白里市	南富田	令和3年2月19日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	56ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	40ha
③地区内における61才以上の農業者の耕作面積の合計	33ha
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	14ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	19ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.4ha
(備考)	

2 対象地区の課題

南富田地区において、営農者の年齢層は幅広いが、61歳以上が7割を占めている。また、後継者については4割弱がいなく、後継者未定も4割弱となっている。
アンケート結果では、多くの方が「当面は現状維持」との回答をされているが、同様に「縮小・委託」とする方が同程度となっていることから、今後において後継者問題を向かえるであろう地域の5～10年後の将来を見据えると、地域内の担い手へ集約を検討していく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

南富田地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者を中心に農地の集積を進めていくことを基本方針とする。

(参考)中心経営体

○経営体数
個人 5経営体

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向
南富田地区の農地は、過去に基盤整備を行っていることから、担い手へ集積されたあとに畦畔の撤去などを行い、大規模区画化などを進め集約化を図る。

農地中間管理機構の活用方針
将来の経営農地の集約化を目指し、中心経営体(認定農業者等)を除く農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。
中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

地域農業の担い手育成
地域農業の若手の担い手育成に努め、認定農業者を目指す。将来にわたって担い手を安定的かつ計画的に確保していく必要がある。